

小学生議員たちも、中学生のお兄さんお姉さん議員に負けじと堂々と意見を述べます。



大館市子どもサミットの会場は比内総合支所の旧議場です。

# 子どもサミット新聞

## 子どもたちによるまちづくり

発行・編集

学校教育課学事係  
☎43-7112

### 子どもサミット

子どもサミットは、市内の全小・中学校(小学校19、中学校10)からそれぞれ男女1人ずつ選ばれた58人のサミット委員で構成されています。

4年目となる今年度も、大館市のために何ができるかを考えて「おらほのふるさとをよりよいまちにしよう」という熱い気持ちで話し合いました。この話し合いで活動のテーマを決め、共通の目標に向かい、市内の小・中学生みんなで協力して取り組んでいくのが子どもサミットです。

サミットは年に2回、また、サミット委員の中から選ばれた代表7人で作る運営委員会は、年に4回開かれます。今年度は8月と12月に、サミットが開催されました。ここでは、「大館をどんなまちにしたいか」、「そのためにどんなことに取り組むか」、「市民の皆さんへの提言」など様々なことが決まりましたので、張り切って取り組んでいきます。

### 平成23年度の取り組みから

#### ペットボトルキャップ回収量は過去最高

ペットボトルキャップ回収運動は、子どもサミット開始年度から継続して行われています。

集められたペットボトルキャップは、大館の企業の技術を活用して建材としてリサイクルされています。この活動を通して、子どもたちはエコタウンとしての大館の良さを実感し、更に発展させていきたいという思いを持つようになってきています。

また、学校に設置した回収ボックスに、地域の人が自分の家で集めたペットボトルキャップを持ってくることで、地域とのつながりを感じることもできました。更に子どもたちのアイデアで、地域にもペットボトルキャップの回収ボックスを設置するなど、その活動は子どもたちの健やかな成長の糧となっています。

このように、回収運動の充実が年々図られ、今年度は過去最高の回収量となりました。

回収の報奨品としては、リサイクル建材で作られたベンチを5台もらうことになりましたので、サミットや運営委員会で検討した結果、市民の皆さんに活用してもらえよう、市内のバス停に設置することにしました。

#### 「あいさつの日を決め、みんなに元気よくあいさつをしましょう」



中学生によるあいさつ運動

「子どもも大人も、みんながあいさつを交わし合う」。そんなまちなれば、私たちのふるさとがもっと住みよい、温かい場所になる。そんな子どもたちの思いが一つとなり、市民の皆さんへの提言として決まったのが「あいさつの日を決め、みんなに元気よくあいさつをしましょう」です。

第一中学校区内の小・中学校では、毎月1〜7日をあいさつの日と決め、小学生と中学生が一緒にあいさつ運動をする姿が見られました。児童会でありさつキャラクターを募集した学校もあり、各車で工夫した取り組みが行われました。